

阿南市立阿波公方・民俗資料館の 観覧料および休館日の見直しについて



阿波公方・民俗資料館は、室町時代後期から江戸時代中期にかけて阿波平島に居住した室町幕府將軍足利家末裔である歴代阿波公方の歴史等を紹介している資料館です。初代阿波公方足利義冬の子で、阿南の地で生まれた義栄は室町幕府第14代將軍となっています。

当館は公方館跡地にあり、阿波公方所縁の品々のほかにも地域の民具資料等を収集し展示しています。このたび、令和8年4月1日から開かれた活用を行うため資料館の観覧料および休館日を以下のとおり変更しました。

	現 行	令和8年4月1日から
観 覧 料	● 個人 200円 ● 団体 100円	無 料
休 館 日	● 月曜日 ● 祝日 ● 年末年始	● 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日 ● 年末年始
開 館 日	● 火曜日～日曜日 ※祝日を除く	● 金曜日、土曜日、日曜日 および 祝日



今回の観覧料および休館日の見直しを契機として、より多くの方々に当館にご来館いただき、本市の誇り得る歴史を身近に感じていただきたいと思います。ぜひおこしください。

なお、今年の10月に「全国足利氏ゆかりの会総会」が阿南市で開催されます。については本誌において開催月までの奇数月に「阿波公方」に関する記事を掲載します。一緒に機運を高めていきましょう。

問い合わせ 文化振興課 ☎22-1798



最近思うこと

〜ヒカルミチシルベ〜

私は45歳、四捨五入をすると50歳になる年だ。近くの物が見えにくくなったり、白髪が増えたり、アイドルが皆同じ顔に見える…。いろいろな変化が出てきて、老後という文字が少しちらつくようになってきた。今まで

周りの年上の人の生き方を気にすることもなかったが、最近では人生の先輩方から得るものがあるのではないかと考えるようになった。ある日、セルフレジで80代ぐらいの男性を見かけた。てっきり困っているのかと思い、「お手伝いしましょうか」と声をかけると、その男性は「挑戦してみようかなと思って」と言っていた。慣れない手つきだったが、1人



新野町
平口 友子 さん

でレジを操作し、支払いを済ませた。「次はもう少し速くできるように頑張るわ」と照れくさそうに話してくれた。何歳になっても、新しい事に触れて挑戦する姿はとてもカッコいい。

他にもすごいなと思う人はたくさんいる。小学生から始めた野球を今でも現役で続けている71歳の父。自分の力を試したいと東京へ行った会社の先輩。誰よりも必死に、誰よりも楽しそうにプレーするバドミントンクラブの先輩。どの人もみんなキラキラして素敵なのだ。大きな

道しるべとなって私たちの向かう先を照らしてくれている。その姿を見て、学んで、成長していきたい。そして、自分も子どもたちの道しるべとなれるような年の重ね方をしたいと思う。今日の頃だ。

次は上中町の柴田倫太郎さんをお願いします。